

## 5月27日 6年生 南アルプス市内 史跡巡り

(事前に教えていただいた内容は丸ゴシック文字にしてあります)  
23日に文化財課の保阪様に教えていただいた甲斐源氏にゆかりのある場所をめぐるしました。加賀美遠光の居所跡地である加賀美法善寺に行きました。

遠光は弓馬の技に優れ、頼朝に信頼されていた。行事の定め役として源頼朝のブレインとして仕えました。

法善寺は、遠光公ゆかりの寺であり、武田信玄公にもゆかりのある寺です。戦に負けてこの寺も焼かれてしまったが、唯一残ったのがこの鐘堂で、南アルプス市で最古の建物と言われているそうです。



周りを堀で  
囲まれている  
様子がわかり  
ますね。



不動明王を見ました。「3年生の時にも見学した。」と思い出した人もいました。

住職様の話によると、もとは白州町にあったそうですが、鎌倉時代1208年にこの地に越してきたそうです。三階菱だけでなく、武田菱の紋が見える(写真の白丸の部分)のは、武田信玄が戦の前に祈禱する寺としてきたからです。



戦に負け、信長の焼き討ちにあいました。江戸幕府を開いた徳川家康が再建させようとして葵の紋がついています。そして、現在まで続いているそうです。

説明の後、信玄像や遠光像、大なぎなたなども見せていただきました。

## 大井夫人にゆかりの古長禪寺



### ビャクシンの木

四隅にビャクシンの木を植えて、守っているとされる。杖を突いたら、そこからビャクシンが生えてきたという伝説もある。



夢窓国師（むそうこくし）が造ったとされる心字池（夢窓国師は、鎌倉にある円覚寺の庭や池を造った、塩山市にある恵林寺の池なども造った人）



### 大井夫人の墓

武田晴信（信玄）公の母，子どもの教育に熱心であり，和歌の先生でもあったそうです。

お墓の右側には，

「春は花 秋はもみじの 色いろも 日か

ずつもりて ちらばそのまま」という歌碑が立っていました。

## 熊野神社

遠光の長男である，秋山光朝は，平清盛の孫を嫁にし，平の知盛に仕えました。平家と親せきになり，一番の出世頭だったそうです。しかし，源平の戦いでは，頼朝と同じ源氏でありながら，平家の親せきであったので，悲運をたどり自害しました。1185年雨鳴城での出来事でした。

熊野神社には，三階菱，武田菱がついていました。五輪塔の説明もしていただきました。





### 椿城（上野城）跡

上野, 大井, 秋山家が関係していると言われ, 上野もりながさん(小笠原家の子孫)の後を継いだのが秋山さんだと言われる。

椿城の跡にも五輪塔があり, 文字が刻んであることを教えていただきました。「妙法蓮華經」の文字を見つけることができました。

その後, 大井氏一族の墓も見に行きました。

### 小笠原長清公祠堂

遠光の次男である, 小笠原長清は, 父や兄と同様に平家に仕えていましたが, 頼朝のところへ一番で駆け付け, 頼朝にとってもかわいがられました。「弓馬の四天王」と呼ばれ, 幕府の重臣となりました。射芸の評議員となり, その後の射芸の行事には常に小笠原家からとなり, 活躍しました。八幡宮の秋の流鏝馬は「小笠原流流鏝馬」と呼ばれます。私たちが学んでいる「小笠原流礼法」も, この小笠原長清と関係が深いことがよくわかりますね。

小笠原小の壁→



館跡は, 小笠原小のあたりで, 小笠原から山寺にかけて本拠地としていたそうです。

鎌倉と関係の深い甲斐源氏について, 事前学習と史跡巡りで学ぶことができました。修学旅行でも今回の学習と見学の仕方(見方)を活かして, 鎌倉の様子をしっかりと見て聞いて感じてきてほしいと思います。

